

# 中学校で定期テスト廃止の流れあり

2018年千代田区立麴町中学校から始まった定期テスト廃止。他県でも廃止する学校がいくつかあるのでご紹介します。

定期テストの廃止や削減をした中学校(一例)		
学校名	年度	取り組み
千代田区立麴町中学校(東京都)	2018年	単元ごとのテストに切替。 希望者は再テストの受験も可能。
世田谷区立桜丘中学校(東京都)	2019年	週2回の単元テストに切替。 年5回の定期テストを2回に削減。 自作ノート持ち込み可能なテストに変更。 実力テスト(年1→3)。中学3年生は年4回。
金沢市立西南部中(石川県)		
須恵町立須恵中学校(福岡県)		
丹波市立氷上中学校(兵庫県)		
沼津市立大平中(静岡県)	2020年	単元テストと実力テストに切替。
武雄市立武生中(佐賀県)		
うるま市立伊波中(沖縄県)		
高知市立南開中(高知県)	2021年	
大垣市立東中(岐阜県)	2022年	
標津町立標津中(北海道)		
嘉手納中(沖縄県)		



以下の図は、定期テストを廃止したある中学校が、定期テスト廃止後に行っているテストの例です。

ある中学校のテストの変化								
	1学期		2学期		3学期			
これまで	3~4ヶ月分の学習内容から出題		3~4ヶ月分の学習内容から出題		2~3ヶ月分の学習内容から出題		期末テスト	
今年度	単元テスト	実力テスト	単元テスト	実力テスト	単元テスト	実力テスト	期末テスト	
	単元テストは、単元ごとに2~3週間おきに実施。	※評価に含まない	単元テストは、単元ごとに2~3週間おきに実施。	※評価に含まない	単元テストは、単元ごとに2~3週間おきに実施。	※評価に含まない		

上記は一例であり、学校によって  
 ○中間テストのみ廃止  
 ○中間テスト・期末テストともに廃止  
 と変更内容も様々。

## では評価はどうするの？

ある中学校のテストの変化の図にも表記してありますが、  
単元ごとに2～3週間のスパンで実施する単元テスト および 授業中の活動等で評価  
という学校もあります。

## なぜ、定期テストを廃止するの？

廃止した多くの学校で言われていること ズバリ、

一夜漬けからの脱却



そして

- 勉強を習慣化できる。
  - 単元ごとの確認テストをすることで、単元ごとの苦手を把握できる。
  - 思考力を問う課題をたくさん出せる。
- というメリットもあります。

その一方で、こういった意見も・・・

- トータルの勉強量が減る→学力の低下につながる？
- メリハリをつけられなくなる。
- 塾が学校の勉強に関与しづらくなる。
- 部活休みがなくなり、勉強のペースを管理する必要がでてくる。
- 授業中の活動も今まで以上に重視される。

まだ、実数としては少ないですが、定期テスト廃止を検討する学校もあるようです。

2023年5月15日



営業マンNEWSは塾様にいろいろな情報を提供します。